

ウエルハーネスだより



160号

理事長からの言葉

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、ようやく秋らしい日が続くようになりました。空の青さがさわやかに感じられます。とはいえ、千葉県を中心とした台風の影響、いまだに停電が続いている地域もあります。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。復旧に最善の努力を尽くしている皆様には、心より敬意を表したいと思います。

ただ、この台風、ちょっと進路が西にずれていれば、埼玉県を襲ったかもしれません。今の千葉県の方々の苦労を我々もしていたのかなと思います。当施設では、国・県の指針により3日間は自力で持ちこたえられるよう備えをしていますが、これほど長期にわたっての停電は想定していません。国や県は、洪水や土砂災害に対しての備えをしつこく言ってきています。当施設はどうみても洪水や土砂災害に見舞われるとは思えません。それよりも停電対策の方が現実的な問題かなと思います。

さて、今月はいくつかお知らせをしたいと思います。

まずは、消費増税と介護職員特定処遇改善加算の算定に伴う利用料金の引き上げに関するお知らせです。

ご存知のように10月1日から消費税が10%に引き上げられます。それに伴い、国が基本利用料の引き上げを行いました。消費増税の影響分という事で、1割負担の方で特養・ショートで1日2円から3円程度（2割・3割負担の方はそれぞれ2倍・3倍）、デイで2～5円（2割・3割負担の方は2・3倍）、介護予防デイで月50円程度（2割・3割負担の方は2・3倍）上がります。また、食費が特養・ショートで1,380円から1,392円へ、デイで700円から706円になります。特養・ショートの居住費・滞在費も1,970円から2,006円になります。これも国の基準費用額の引き上げによるものです。ただし、「介護保険負担限度額認定証」（減免）をお持ちの方は、食費・居住費・滞在費ともに負担額は今までどおりです。

次に『介護職員特定処遇改善加算』ですが、基本利用料・加算の総額に、特養で2.7%、ショートで2.3%、デイで1.0%掛けた額になります。これは、経験

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL：048-782-0575
FAX：048-782-0590
令和元年9月23日発行

ある特定の技能を持つ介護福祉士を中心に介護職員やその他の職員の処遇を改善させるための資金となる加算です。私どももこの加算を原資にして、職員の給与改善を図ります。

消費増税により皆様の生活に影響が出ている中、心苦しいのですが、より質の高いサービスの提供を目指してまいりますので、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。間もなく「変更契約書」をお送りしますので、署名・捺印の上、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

かわりまして、特養ご利用の皆様へのお知らせです。

昨年までご家族様との食事会を催していましたが、ご入居の皆様の重度化に伴い、一緒に食事をしていただくのが難しくなってきました。楽しみにされていた方も多いと思いますが、残念ですが中止させていただきます。ただし、ご家族様の当施設の食事の試食も兼ねていましたので、後日『試食会』を開催したいと思います。

8～9月の行事

9/14 敬老のお祝いの会を行いました。伊奈の備前太鼓保存会の皆様による太鼓は、腹に響き渡る迫力のある演奏でした。9/16には、敬老の祝い膳としてお昼に「天ぷら盛り合わせ・鰻の蒲焼き・炊き合わせ・清まし汁・栗ババロア」、おやつに「竹柿会の焼き印入り十万石饅頭」を召し上がって頂きました。

特養では、8/28に流しそうめんをしたり、ユニット毎に誕生日会をしました。また、花火や調理レク敬老会を行うユニットもありました。

デイでは、お月見吊るし飾りや屏風を作ったり、色分けリレーやカーリングゲームなどをしました。また、チヂミ作りの調理レクも行いました。



9～10月の予定

特養では、誕生日会をユニット毎に計画しています。また、カルピスシャーベットや牛乳くず餅を作る予定のユニットもあります。

デイでは、秋の水彩画やハロウィンの壁掛け作りを行います。また、向山運動会や外食ツアーを計画しています。

特養入所のご家族様へ

11月上旬にインフルエンザの予防接種を行います。同封してありますお知らせを10/7(月)までに必ず返信下さいます様、宜しくお願い致します。

ウエルハーネスだより



161号

理事長からの言葉

先日の台風の影響、皆様は如何でしょうか。お陰様で当法人の両施設とも全く無事でした。ただ、市内でも特養の1階が浸水するなど、かなりの被害が出ているようです。当法人としましても、被災した特養に救援の依頼があった水を届けました。自施設のための備蓄はしているのですが、こういったお互いに助け合うためにも備蓄は必要なんだという認識を新たに持ちました。

また、今回、寝たきりの高齢者の方が奥様の眼前で避難できずに水に吞まれたという痛ましい出来事がありました。新聞の投書でも、私は寝たきりなので避難所に行くのも大変だし、行ったところで体育館の床に寝ているだけでは、導尿等しているのが身体がおかしくなってしまう、とりあえず2階に避難するだけですよという方がいらっしやいました。今回は水が来なかったのが大丈夫だったが、次はわからないという事でした。

昨年、埼玉県と国交省の水害・土砂災害に対する避難計画の説明会に行ったのですが、担当者は法律で決まったのだから、すぐに作ってください、避難訓練を行ってくださいというだけで、もし指示に従わない施設は公表しますという対応でした。我々としては作らないのではなく、作れないんだという事を訴えました。国や県が示しているモデル例は山間地等の危険な地域のもので、本県のような圧倒的に平野部のものはないし、その平野部でも、今回のような川沿いの施設とそうでない所は違います。実情に合わせたものが必要になるのではと思います。また、利根川沿いの施設は、うちは利根川が氾濫したら、数メートル浸水する、避難するタイミングをしっかりと示して欲しいと訴えました。また、その際、施設の車だけでは避難できないので、避難に対して行政の支援はあるのか、さらにそもそも避難場所に施設の入居者を避難対象として考えているのかという質問がでました。これには国、県の担当者も答えられず、最後には避難場所に入居者を収容することは想定していないと認めました。

当法人の両施設とも上尾市と災害時に福祉避難所になる協定を結んでいます。この運用に関しても細かいことは決まっておらず、多くは法人任せになっています。受け

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL：048-782-0575
FAX：048-782-0590
令和元年10月25日発行

入れ人数としても多い所で20名、少ない所では5名と開きがあります。ちなみに当法人の両施設とも5名です。というのは、人、物資（市からは必要なものがあれば予算要求するので言ってくださいとの申し出はありますが）とも手当が無く、施設任せとなっているので、現実問題として職員の確保状況からしても5名が限界だろうとの判断です。日頃、職員には災害時にはまず自分自身の安全を確保し、次に家族の安全、それが確保できたら施設に来てくださいと言っています。となると、施設の現状維持が精いっぱいの中々多くの方を受け入れる事は、難しいのではと思っています。

長々書いてきました。まずは被害の復旧に力を入れていただきたいと思ひますし、次には危険への対策をしていただきたいと思ひます。ですが、これからはそれに加えて、避難できない方々、高齢の方や障害のある方等への対応をもう少し真剣に考えていく必要があるのではということを実感した次第です。とはいっても、言うのは容易いですが、まずは何かから手をつけたらよいのでしょうか。

9～10月の行事

10/14に季節の行事食として、秋の味覚を取り入れた「きのこご飯・赤だし味噌汁・さんまの蒲焼き・秋野菜炒め・ほうれん草の菊花あえ・焼き芋ロールケーキ」を召し上がりました。

特養では、調理レクや誕生日会をユニット毎に行いました。100歳の長寿のお祝いをした方もいらっしやいました。

デイでは、水彩画や書道を行ったり、ハロウィンの工作をしました。また、花の丘公園へ散歩に出掛けたり、外食ツアーへも行きました。



10～11月の予定

特養では、フルーチェ作りをしたり、ハロウィンにカボチャプリンを召し上がり仮装したりとユニット毎に計画しています。

デイでは、秋をつかもうゲームや季節の塗り絵を行う予定です。また、カレンダー作りやクリスマスリース作りなども行います。

ご家族様へお願い

インフルエンザも流行して参りましたので、ご面会や外出等の際は手洗い・うがいを宜しくお願い致します。特養ご利用者様のインフルエンザ予防接種を、11/2(土) 11/7(木)に行います。





デイ
花の丘公園散歩

特養
調理レク



デイ
そうま外食ツアー



デイ
ハロウィン工作



秋の食材メニュー



施設の最高齢100歳



向山運動会



デイ 水彩画



特養 牛乳くず餅作り



ウエルハーネスだより



162号

理事長からの言葉

やっと冬の寒さが身に沁みるようになってきました。気が付けば、12月は目前。寒いのは当たり前なのですが。紅葉をみても、以前より1ヶ月近く遅い気がします。

さて、今月は福祉や介護の話ではなく、久しぶりに真剣に見たテレビの話題です。

皆さんは、NHKのBSプレミアムで毎週水曜日、夜の8時から放送している『英雄たちの選択』という番組をご存知でしょうか。司会は歴史学者の磯田道史先生と杉浦友紀アナウンサー、毎回登場人物に関係ある作家や学者がゲストに招かれます。

11月20日は「天下無双の名将・立花宗茂～関ヶ原敗戦・奇跡の復活劇～」というテーマでした。NHKの番組紹介には、以下の事が述べられていました。

『『当今無双の勇士』『西国第一の猛将』と呼ばれた戦国の名将・立花宗茂。関ヶ原の戦いで西軍に属した宗茂は、決戦に参加できずに敗軍の将となった。だが、西軍の拠点・大阪城に籠城し、東軍を迎え撃つという秘策があった。宗茂の戦略とは？その後、宗茂は改易されたが、西軍武将の中で唯一旧領柳川への復帰を果たす。なぜ復活できたのか？今も柳川に受け継がれる教えとは？波乱万丈な生きざままで人々を魅了する立花宗茂の実像に迫る。』とあります。ゲストの作家の加来耕三さんは「日本史の奇跡は、戦国末期に立花宗茂という武将を持ちえたからではないか」と言っています。また、司会の磯田先生も戦国武将で一番好きだということで非常に人気があります。

宗茂は、関ヶ原の戦いの時、秀吉に九州柳川に13万石を与えられ大名となった恩義があり、それを忘れず西軍に属しました。前哨戦の大津城攻撃に参加し、これを開城させる武功をあげています。しかし、肝心の関ヶ原の合戦では、宗茂不在のため完敗してしまいます。この番組では、家康が宗茂を恐れ、不在を狙って関ヶ原で合戦を仕掛けたと述べています。その後宗茂は「西軍の拠点・大阪城に籠城し、東軍を迎え撃つ」と総大将毛利輝元に申し出ますが、煮え切らないのです。失意のもと九州柳川に戻ってしまいます。その後、加藤清正の親身な申し出により城を明け渡し、改易し、牢人の身となります。その時、20数人の家臣が宗茂に付き従いました。その家臣を路頭に迷わせないためにも旧領の回復が必要と考え徳川家に近づきます。その後、大阪冬の陣の活躍、

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和元年11月23日発行

島原の乱平定、秀忠に請われて相伴衆になったり、徳川家の信頼を得て最後西軍武将の中で唯一旧領柳川への復帰を果たします。

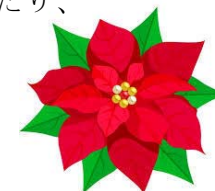
立花家は今でも、柳川で立花藩時代の大名庭園や明治時代に建てられたお屋敷を「お花」という名で旅館にして公開しています。東京ドームの半分ほどの広さがあるそうです。それはご当主の言葉によれば、宗茂の「領民の幸せを第一の義とせよ」を体現するためであり、支えてもらっている周りの人々を幸せにすることであり、さらにそれは、柳川を訪れる人をもてなす心として柳川の人々に受け継がれているそうです。

最後に磯田先生が言っていました、立花家に伝わる古文書を読み、愕然としたことがあった、他の大名家では見たことのない文書があったそうです。それは戦ごとに戦死した立花家の家臣が綴られたもので、立花家ではそれらの方々を常に供養していたそうです。そんな家臣を大切にすることが戦国最強軍団と言われる由縁なのだろうなと思いました。今、福岡県では立花宗茂を大河ドラマの主人公にと官民挙げてNHKに働きかけているそうです。

10～11月の行事

特養では、調理レクや誕生日会をユニット毎に行いました。また、ハロウィンレクやお茶会を行ったユニットもありました。

デイでは、ハロウィンの日に職員と利用者様が仮装をしたり、カラオケを歌ったり記念写真を撮って楽しみました。また、厚紙でクリスマスのリースを作ったり、色々なゲームも行いました。



11～12月の予定

特養では、誕生日会やクリスマス会をユニット毎に計画しています。

デイでは、天井飾りや来年の干支の壁画作りを行います。また、12/24と12/25にクリスマス会を行う予定です。

お知らせとお願い

- ・12/5(木)に職人さんによる蕎麦打ち実演を行います。蕎麦切りをご利用の皆様にも体験して頂き、昼食には打ち立ての蕎麦を召し上がって頂きます。
- ・12/28(土)に餅つきを行います。
- ・12/31～1/3は、デイサービスがお休みとなります。
- ・インフルエンザや風邪などが流行っておりますので、十分に気を付けて頂き合わせて手洗い・うがいの予防もお願い致します。





デイ
すいとん作り



デイ 誕生日会



特養 ハロウィンレク



特養
お茶会

特養
調理レク

デイ 俳句作り

デイ
クリスマスリース作り



デイ ハロウィンレク



ウエルハーネスだより

163号

理事長からの言葉

今年も残すところあと1週間ほど、押し詰まってまいりました。平成から令和への代替わりという節目の年でした。それとともに、消費税も8%から10%へと上がった年でもありました。

実際、消費税の方は、現時点では思ったほど暮らしに影響は出ていないようです。と思っていたらこの所、立て続けに社会保障の負担増のニュースが飛び込んできます。

皆さん、ご存じかと思いますが、まず私どもも関係する介護に関することから。2021年の介護報酬改定に向けて厚労省は原案を取りまとめたようです。当初見込まれていた、ケアプラン(介護計画)作成の有料化、軽度者(要介護1・2)の生活援助サービスの市町村への移行、自己負担2・3割の方の拡大は見送られました(おそらく次の次の改定では、実施されるかなと思います)。しかし、自己負担の上限額の引き上げ、特養等の低所得の入居者の負担軽減策である居住費・食費の補助(補足給付)のうち、食費の補助を見直し、負担を増やすことが決まりました。

現在、負担上限額は所得が少ない世帯を除き月4万4千円で、この額を超えた分は高額介護サービス費として返還されます。改定案では、負担上限額が年収770万以上の世帯は9万3千円、1160万円以上の世帯は14万1000円に引き上げられます。

それ以上に深刻なのは、年金収入が80万以上の人(おそらく3段階を想定していると思います)の内、120万円以上の方の食費の自己負担を2万2千円増やすというものです。どうして、こうなったのかはその経緯を含めて不明です。3段階で120万円以上という、一般的に厚生年金の受給者で、他に財産収入が無い方が多いと思います。年金収入が月額20万以上の方は、4段階になるので補足給付の対象外の方です。今回食費が引き上げられる方は、現在ぎりぎりの収入で入所していらっしゃるのではないかと思います。この食費引き上げが行われると特にユニット型特養へ入居されている方は、経済的に厳しくなるのではと思います。

それに追い打ちをかけるように、政府は社会保障制度改革の中間報告をまとめました。それによると医療面では「一定の所得がある75歳以上の窓口負担を2割に」「紹介状なしでの大病院利用時に負担上乘せ」、年金では「年金の受給開始年齢の上限を75歳まで引き上げ」「働く60～64歳の厚生年金減額を縮小」、労働では「70歳までの



上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹栴会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和元年12月25日発行

就業機会確保へ企業の努力義務」などが主な内容です。来年6月には最終案をまとめて2022年には施行を目指すようです。2022年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になるので、それを見据えた政策だと思います。

とは言え、消費税は社会保障制度を維持するために行い、増税分は全額社会保障費に回すという約束だったはずですが。増税自体は仕方がないとしても、本当に有効に使われているのか疑問に思います。「桜を見る会」以上に増税と社会保障費の関係を追及していく必要があるのではないのでしょうか。

さて、今年も1年間いろいろとお世話になり、ありがとうございました。お陰様でウエルハーネス上尾・デイサービスセンター向山ともに無事に1年を終えることができました。来年も精いっぱい頑張っていきますので、皆様宜しく願います。どうぞよいお年をお迎えください。

11～12月の行事

12/5(木)に職人さんの実演による蕎麦打ちを行いました。ご利用者様に蕎麦切りを体験して頂き、上手に細く長く切っていただきました。お昼には、打ち立ての蕎麦とかき揚げ天ぷらを召し上がって頂きました。

特養では、誕生日会をユニット毎にお祝いしました。また、クリスマス会も行いケーキやアイスなどを召し上がられ、職員サンタからのプレゼントに喜ばれていました。

デイでは、ホッケーやサンタの早取りゲームを行ったり、新年の置物作りをしました。また、12/24・25にボランティアさんにもお越し頂きクリスマス会を行いました。

12～1月の予定

12/28(土)餅つき大会を行う予定です。ついた餅は、鏡もちにしてお供えします。

特養では、各ユニット毎に、和菓子を召し上がったりおみくじを引いたりする新年会を計画しています。

デイでは、1/4から新年会に、かるたや福笑いなどを行います。また、書初めやゲームも行います。1/14・16・18に初詣に出掛ける予定です。

お知らせ(特養のご家族様)

元旦は入浴をお休みする関係で、年末年始(12/29～1/4)の入浴日が少し変更になります。詳しくお知りになりたい方は、職員までお尋ね下さい。





デイ
新年置物作り



12/5 そば打ち



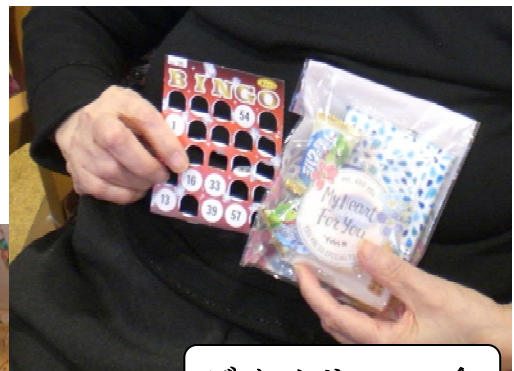
デイ
干支作り



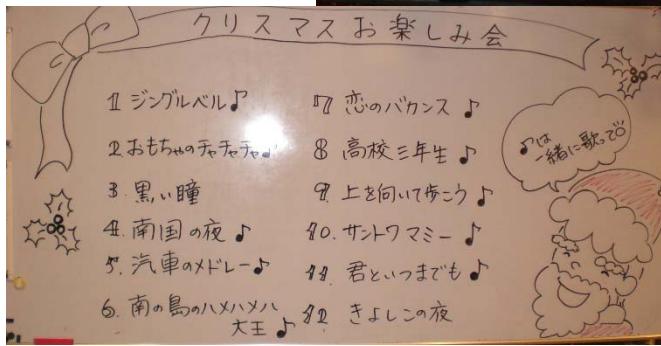
デイ サンタ吊し飾り



特養 クリスマス会



デイ クリスマス会



ウエルハーネスだより

165号

理事長からの言葉



2月とは思えない暖かい日が続いています。まるで桜が咲くころの陽気です。このままいくと、卒業式の頃には桜が満開になるかもしれませんね。穏やかなのは天気だけ、世の中は新型コロナウイルスによる大混乱中、終息の目途が立ちません。

さて、この新型コロナウイルスですが、怖いのは潜伏期間の長さ、陽性でも平常時と変わらない人がいる、高齢者や基礎疾患のある人は重篤化する可能性があるという点でしょうか。また、治療薬や予防のワクチンが無いという点も恐怖をあおっているのでしょうか。国は、総力を挙げて、治療薬の検証とワクチンの開発を行っているようです。治療薬としては、武漢で抗HIV薬が重篤化する前の罹患者には有効だったということが証明されているようです。現在はさらにインフルエンザ治療薬の「アビガン」の投与による治療を試みているようです。これが有効だと検証されれば、だいぶ恐怖心は減るのではないのでしょうか。期待したい所です。

また、コロナウイルスの特徴らしいですが、知らないうちに罹って、知らないうちに治っているという人がおそらくもういるのではないのでしょうか。どうやらそういった抗体を持っている人が増えると、まず一度は終息に近い形になるのではと、予想している人がいます。ただその抗体に対抗するウイルスが出てくるので再度流行しますが、その頃には治療薬やワクチンが功を奏していると思われしますので、今ほどの広がりを見せないのではとも言われています。ただ、その抗体によって取りあえず終息するのが、いつごろかという事がまだ見えていません。コロナウイルスは暖かさに弱いから、あと1~2ヶ月ではないかという学者がいます。ぜひそうあって欲しいと思います。

当施設の現時点の対応について、お知らせします。厚生労働省等の指導により、日々変化することをご了承ください。

まず、入館時に検温してください。発熱が見られる場合は、入館をお断りします。健康状態の方でも感染している可能性があるということから、**面会は極力お控えください。****受診以外の不要な外出もお控えください。**やむを得ず面会にお越しの場合、原則として

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹榎会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和2年2月26日発行

1階での面会をお願いします。食事介助等もご遠慮ください。面会は**できるだけ短時間**（長くとも**30分程度**）にしてください（同じ空間に30分以上一緒にいると感染リスクが高まるという検証結果があります）。**小学生以下のお子さんの面会**も控えてください。**手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用**をお願いします。施設の在庫が限られていますので、可能な限り**マスクをご持参**いただくようお願いいたします。**近隣地区の感染状況次第では、さらに厳しい制限**をお願いすることもございます。また、この内容をぜひ面会の可能性のある関係の皆様にお伝えください。

職員ですが、出勤時に検温しています。発熱を含めて体調不良時には、休ませています。全職員マスク着用して勤務しております。ただし、マスクの在庫状況がひっ迫していますので、関係各所にマスクの確保を働きかけている所です。もし、皆様の中でマスクに余裕のある方がいらっしゃいましたら、融通していただければ幸いです。

相手が目に見えないウイルスということで、完全に防ぐことは難しい現状ですが、少しでも感染リスクを減らしたいと思っています。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1~2月の行事

特養では、節分レクに鬼の絵を貼ったペットボトルにボールを当てるゲームや鬼バスケットをしたり、福豆を食べたりユニット毎に行いました。また、誕生日会にケーキを召し上がったたりプレゼントを渡しお祝いしました。

デイでは、紙コップに書かれた鬼にボールを当てられるかを競う、福の神ゲームを行ったり、コロコロゲームをしました。また、鈴カステラ作りや表情豊かなお雛様の置物作りをしました。2/21には向山保育園児に来てもらい“ももたろう”演技を披露してもらいました。ご利用者様も自然とほんわり笑顔が見られました。



2~3月の予定

3/3(火) 桃の節句の昼食には「海鮮ちらし・あさりの清まし汁・高野豆腐の煮物・菜の花の辛し和え・三色ババロア」を召し上がって頂きます。3/20は、春分の日献立を予定しています。

特養では、ひなあられを食べたり甘酒を飲んだり、ひなまつりをユニット毎に計画しています。

デイでは、春の壁画や天井吊るし飾りを作ったりします。また、ひなまつりゲームを考えています。



特養
誕生日会

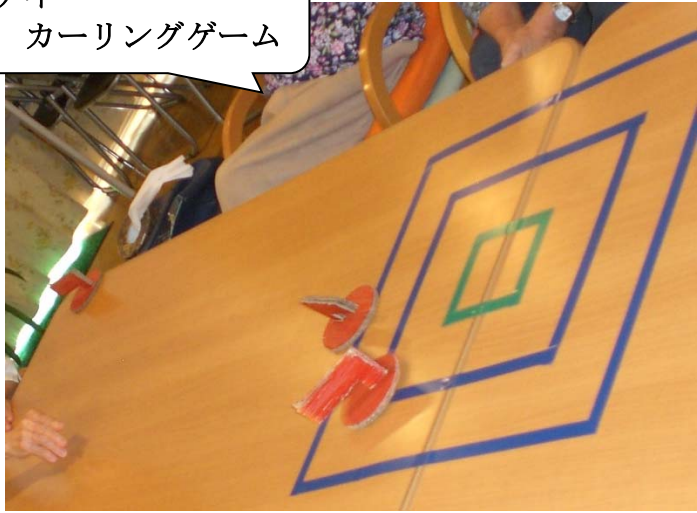


特養 流しそうめん



特養
調理レク

デイ
カーリングゲーム



9/14 敬老会

特養 花火



デイ お月見
吊るし飾り



デイ 屏風作り



敬老祝い膳

特養 行事レク

